

幅広い病害防除効果をもつ有機銅水和剤

キノンドー[®]水和剤 80



- 汚れが少なく、より一層経済的な防除ができる
- 予防効果に優れ、耐性菌が生じにくい
- 薬害の心配が少なく、植物の栄養生理に良い結果を生みます。
- カブレなどの心配が少ない。



病害防除は、発生前または発生初期に、予防的に薬剤を使用して防除効果をあげることが基本で、薬剤は安全性が高く、作物に好影響のあるものが望まれます。

しかし、現実には特効薬に頼りがちで、その薬に耐性を持つ病原菌があらわれ、対策に苦慮するという事例が多く見られます。また人畜・天敵等などへの影響なども注意が必要です。

キノンドーは、基本農薬ボルドー液の欠点を改良した薬剤で、作物の成長に欠かせない銅を適度に補給でき、葉の色・葉の厚みも増し、作物の生育、収量、品質に好影響を与えます。キノンドーは防除効果だけでなく、栽培目的に適した農薬ともいえます。



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

病害防除剤 キノンドー®水和剤 80

成分：有機銅……80%

毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数			
なし	黒星病・黒斑病	1200~2000倍	200~700ℓ/10a	収穫3日前まで	9回以内	散布	12回以内 (塗布は3回以内、散布は9回以内)			
	輪紋病	1200倍								
りんご	黒星病・斑点落葉病	1200~1600倍		1200倍	収穫14日前まで		4回以内	7回以内 (塗布は3回以内、散布は4回以内)		
	輪紋病	斑点病病病病病病								
	褐斑病									
	黒すすすす斑点病									
マルメロ	黒点病	1200~2000倍		1000~1400倍	200~700ℓ/10a		収穫30日前まで	5回以内	4回以内	8回以内 (塗布は3回以内、散布は5回以内)
かりん	ごま色斑点病	1200倍								
かき	炭疽病・うどんこ病	1000~1400倍		1000倍	収穫30日前まで		3回以内	5回以内	3回以内	
	落葉病	800~1000倍								
みかん	黒点病	800~1000倍	800倍	収穫45日前まで	4回以内 (開花後は1回)	5回以内	7回以内 (塗布は3回以内、散布は4回以内(但し、開花後は1回以内))			
	灰色かび病	800倍								
かんきつ (みかんを除く)	黒点病	800~1000倍	800倍	収穫30日前まで	3回以内	5回以内	3回以内			
	灰色かび病・幹腐病	800倍								
ぶどう	黒とう病	1200~1600倍	1200倍	収穫30日前まで	5回以内	5回以内	5回以内			
	べと病	1200倍								
はくさい	軟腐病	1200~1600倍	100~300ℓ/10a	収穫21日前まで	5回以内	5回以内	5回以内			
レタス	腐敗病	1200~1600倍	300ℓ/10a	収穫21日前まで	5回以内	5回以内	5回以内			
食用ゆり	鱗茎さび症	50倍	-	植付前	1回	球根瞬間浸漬	1回			
麦類 (小麦を除く)	雪腐病	400~800倍	100~200ℓ/10a	根雪前	2回以内	散布	2回以内			
	眼紋病	400倍	60~150ℓ/10a	収穫60日前まで	5回以内			5回以内 (種子への処理は1回以内)		
小	雪腐病	200~400倍	0.5~1ℓ/m ²	根雪前	3回以内			5回以内	5回以内	
	眼紋病	80~100倍	0.2~0.25ℓ/m ²							
芝	雪腐病	40倍	0.1ℓ/m ²	根雪前	3回以内	5回以内	5回以内			
西洋芝 (ベントグラス)	雪腐小粒菌核病	40倍	0.1ℓ/m ²	根雪前	3回以内	5回以内	5回以内			
シクラメン	葉腐細菌病	10倍	2~5mℓ/株	発病初期	4回以内	葉柄基部散布	2回以内			
えぞまつ(苗木) とどまつ(苗木)	暗色雪腐病	500倍	1ℓ/m ²	根雪前	2回以内	苗木兼 全面土壌散布	2回以内			

平成31年4月10日現在

△ 効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤、水和硫黄剤との混用はさけてください。
- 本剤は病害の多発時の使用では効果が劣る場合があるので病害の発生の多くならないうちに発生初期から1~2週間おきに予防的に散布してください。
- 本剤をりんごの病害防除に使用する場合は、サビ果の発生を多くすることがあるので、落花直後から落花20日頃までの使用はさけてください。また樹勢の良くない状態などで連続散布すると生理落葉を助長することがあるので注意してください。特にゴールデン及びゴールデンからの育成品種では注意してください。
- 柿の炭疽病防除に使用する場合は、発生が多い時には所定の範囲内の高濃度で散布してください。
- ぶどうのべと病に対しては、多発時には効果が不十分な場合もあるので、なるべく発生初期に予防的に散布してください。なお、ぶどうでは果実肥大期(あすき粒大)以降の散布は、サビ果や果房の汚れを生じるおそれがあるので、無袋栽培ではこの時期以降の散布はさけてください。
- はくさいの軟腐病、レタスの腐敗病、シクラメンの葉腐細菌病に使用する場合は、発病後の散布では効果が劣るので発病前~発病初期に予防的に散布してください。
- シクラメンの葉腐細菌病に使用する場合は、薬液による汚れが生じるので葉及び花弁にかからないように注意してください。
- 麦類の雪腐病の防除に使用する場合は、なるべく根雪近くの晴天の日を選んで10アール当たり100~200ℓを散布してください。
- 小麦の眼紋病の防除に使用する場合は、高温時や葉身が軟弱に生育している状態で散布すると、葉身先端部に薬害が生じることがあるので留意してください。
- 芝の雪腐病防除には、薬量として平方メートル当たり2.5gをなるべく根雪近くの晴天の日散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水溶性フィルム包装の場合、内袋はぬれた手で触れないでください。内袋はそのまま所定量の水に投入してください。外袋の開封後は使い切ることが望ましいです。やむを得ず保管する場合には、できるだけ速やかに使い切ってください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

魚毒性等…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。水溶性包装の場合吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。

●使用前にラベルをよく読む ●ラベルの記載以外には使用しない ●小児の手の届く所には置かない